

生産部会発信の振興誌を用いた新規生産者振興について

みゆき営農センター高橋徹也



管内の花き生産

- ・出荷量は毎年5%落ち込む。
- ・全国的にも生産減で品薄。価格が右肩上がり。
- ・販売金額は横ばい。

過去5年	平成29年度	320,157千円	
	平成30年度	341,708千円	
	令和元年度	338,881千円	
	令和2年度	310,214千円	
	令和3年度	362,621千円	H29年比：数量78%、価格127%

令和4年度は前年同程度見込む

専業農家さんは花き経営に手ごたえを感じている。

- 〃 「数は力」を承知しており数量減の危機感共有。
- 〃 地域農業へ貢献したい。

2016年6月

花作りはムズかしい・・・と思われている方

花とうがらし(タカノツメ) はどうでしょうか？

普及、食用として栽培されているタカノツメは花としても多く使用され管内でも出荷されています

作り方の例

1. 畑の準備
 - 1 aあたり「炭酸苦土石灰 20kg」と「BB473 10kg」を全面散布し耕します。
2. 定植
 - 1) 時期 5月下旬～6月上旬
 - 2) 畝場所におルトラン細剤 600g/a 散布
 - 3) 土にお湿りある時に9.5cm幅の黒マルチを張る
 - 4) 定植間隔 1aあたり513株、プラグ苗4枚必要 1枚約2,300円
 植床 60cm(株間 30cm×条間 30cm・2条)十通路 50～60cm
3. 主な作業
 - 1) ピンチ
 側枝を伸ばして出荷をするため6月下旬頃頂点を飛ばします。
 - 2) 病害虫防除
 バイラスが発生するので特に生育初期にアブラムシ主眼に薬剤散布をおこないます。
 - 3) 倒伏防止
 実が大きくなると曲がってきますのでフラワーネットやマイカー線を張ります。
4. 収穫(出荷)
 - 1) 8月中旬～10月上旬
 緑～赤色まで出荷できます。
 - 2) 葉を全て取り除きます。
 - 3) 毎日収穫する必要はありません。
5. 生産量と所得目安 1a
 - 1) 出荷量 3,500本(30箱)
 1株あたり7本収穫
 - 2) 所得目安 6万円
 1箱振込額 平均 2,800円



フラワーネットを張った様子



葉を取り除いた状態



1葉

現象②

「いま、花が儲かる」を機に花き生産者が周りに花作りを進める現象が起こる。

人が人を呼ぶ

花作りへの肯定感

要望の多い「1年で収穫できる花。」に対し花作り初めてでも、とっつきやすい鷹の爪を提案。

作付者 21名 30a
 コニカルブラック 8名
 タカノツメ 18名
 内、両方 5名

作付者

- ・小面積花き農家
- ・野菜出荷農家
- ・営利農業初めて



資料は文字少なく画像とイラスト中心



資料抜粋 ピンチ作業
頂点切取り側枝6本程度
立てる。

目揃会と出荷物 トウガラシは、あおい内から出荷でき葉が痛んでも問題ない。



花トウガラシ結果

令和4年	出荷者	箱数	本数	販売金額	箱単価	本単価
タカノツメ	18	472	43,774	2,143,330	4,541	49
コニカルブラック	8	153	13,566	712,870	4,659	53
計				2,856,200		

令和3年	出荷者	箱数	本数	販売金額	箱単価	本単価
タカノツメ	6	178	20,855	934,614	5,251	45
コニカルブラック	1	19	1,610	92,730	4,881	58
計				1,027,344		

考察

花トウガラシ

- ・全員が出荷まで至ることが出来た。
- ・本種で一連の作業を体験されたので
より、営利な品目導入可能となった。

いま、花が儲かる の効果

- ・新規の普及 オミナエシ13名、ヒペリカム2名、スズラン1名
- ・規模や世代に関係なく花き生産者に自信。

「(知人花き農家) ○○さんに相談したら

この番号(小職電話)に電話してと言われた。」 約20件

JAながのみゆき花き共撰部会 様

「いま、花が儲かる」の発行たいへんありがとうございました!